

やまなし 県議会 だより



令和8年1月6日 県議会議事堂前

十二月定例会の概要

県議会は、令和七年十二月定例会を十二月四日から十九日までの十六日間の日程で開催しました。

開会日には、長崎幸太郎知事が総額三十七億二千三百二十八万七千円の令和七年度一般会計補正予算案などを提出しました。

提案理由説明において知事は、県政の最重要課題である県民所得の向上について「県民の家計に最も直接的に響くのが賃金水準の引上げである」と強調し、具体的には非正規雇用労働者等のキャリアアップと就労のための一貫した支援などを行っていく考えを示しました。その上で「物価高騰により実質賃金が低下する中、非正規雇用労働者などの方が安定した生活基盤を築くためには、社会人としての基礎力を養い、正規雇用や高収入の就労につなげることが不可欠」と指摘し、オンライン講座や企業とのマッチング、キャリア相談など就労までの一貫支援を行うモデル事業を実施する方針を示しました。これにより「働き手の所得向上と企業の人材確保を同時に実現し、県内経済の持続的な成長に寄与していく」と述べました。

開会日の本会議ではさらに、九月定例会で設置した決算特別委員会の審査結果の報告を受けたのち、令和六年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに公営企業会計決算について賛成多数で認定しました。

十二月九日から十二日までの四日間、開会日に行われた知事の提案理由説明を踏まえ、代表・一般質問を行いました(詳細は二面)。また十二日、指定管理施設の管理の業務または経理の状況及び県が出資している法人の経営状況を調査するため、指定管理施設・出資法人調査特別委員会を設置しました(詳細は四面)。十二月十五日には教育厚生及び土木森林環境の各常任委員会を、十六日には総務及び農政産業観光の各常任委員会を開催し、付託案件及び所管事項の審査を行いました(詳細は三面)。

最終日の本会議では、国の経済対策と連動した物価高騰対策として、九十一億九千五百四十一万二千円の追加補正予算案が提出され、直ちに本会議において質疑を行ったのち、総務及び教育厚生各常任委員会が審査を行いました。その後、開会日に提出された補正予算と合わせ、総額百二十九億一千八百六十九万九千円となる令和七年度一般会計補正予算をはじめ、中小企業者等の事業の再生を支援するための措置に関する条例の制定など、二十二案件を可決・同意し閉会しました。

渡辺淳也議長は、閉会のあいさつの中で「本年は、記録的猛暑や市街地への熊出没の急増など自然の脅威を感じさせる一方、万博開催や生成AIの進化など未来に希望を抱かせる動きも数多くあった。また、本県では北杜市で国内最大規模のグリーン水素製造設備が稼働を開始し、水素社会の実現に向けた先進的施策が進んだ。こうした変化に対応し、地域社会の安全・安心と持続可能な発展を両立させることが私たちの責務である」と述べました。

県議会トピックス

社会資本整備推進 山梨県議会議員連盟

社会資本整備推進山梨県議会議員連盟(会長：渡辺淳也議長)は、10月10日に臨時総会を開催し、国に対し道路などインフラ整備のため十分な予算確保を求める決議を採択しました。総会には長崎知事、県関係国会議員、国土交通省・農林水産省幹部、市町村議会議員も出席しました。今後も、オールやまなしで国への要望活動を積極的に展開していきます。



中国四川省友好訪問

渡辺淳也議長を団長とする山梨県議会議員訪問団は、10月28日に開催された「山梨県・四川省友好県省締結40周年記念式典」に出席しました。式典では文化、経済など幅広い分野での人の交流の推進を柱とした両県省による覚書が締結されました。また、同時に開催された食や文化の交流イベント等に参加し、友好関係の深化等に努めました。



永年勤続議員を表彰 地方自治の発展に貢献



代表して表彰を受ける清水議員(左)

全国都道府県議会議長会から、県議会議員として10年以上在職し、地方自治の発展に功績があったとして、渡辺淳也議長(自由民主党 政風やまなし、富士吉田市)、清水喜美男議員(未来やまなし、甲斐市)、卯月政人議員(自由民主党 政風やまなし、大月市)、宮本秀憲議員(自由民主党 政風やまなし、甲府市)が永年勤続表彰されました。



代表質問

自由民主党 政風やまなし
宮本 秀憲



- 賃金の引き上げに向けた取り組み
- 富士トラムの実現に向けた取り組み
- 水素社会の実現に向けた取り組み
- 航空・宇宙・防衛関連産業の振興
- 産業施策推進における経済団体との連携強化
- 持続可能な医療提供に向けた取り組み
- クマ対策の強化
- プレコンセプションケアの取り組み
- 国際保育の推進
- 第五次やまなし社会資本整備重点計画
- 中山間地域の活性化
- 公立小中学校における教員確保の取り組み
- 電話詐欺の現状と防止対策

自由民主党新緑の会
臼井 友基



- 人口減少が進む現状
- 賃金アップへの取り組み
- 子育て世代への良好な住環境の普及
- 人口減少下における市町村の広域連携に対する県の取り組み
- 包括的性教育の展開
- 公私立高校の将来構想
- コンバクトなまちづくり
- 企業立地の戦略的な推進
- 介護人材の確保
- 保育人材の確保・定着に向けた取り組み
- 職員の適正数
- 路面標示の補修整備
- 姉妹都市二〇

未来やまなし

古屋 雅夫



- 山梨県における平和への考え方や平和教育
- 社会資本整備
- 山梨市街と中央自動車道一宮御坂インターチェンジを結ぶアクセス道路の整備
- 農作物の鳥獣害対策と駆除したシカなどの有効活用
- 非正規労働者等に向けたやまなしキャリアアップ・ユニバーシティの拡充
- 小規模事業者のDX推進
- 医療・介護分野における生産性向上
- 地球温暖化対策
- 民有林の適切な整備の推進
- 働く世代の健康づくり
- 山梨県消費者基本計画の改定
- 教員の魅力向上に対する取り組み

一般質問

自由民主党 政風やまなし
大久保 俊雄



- 中小企業におけるGXの推進
- ケアラ支援における普及・啓発の取り組み状況
- 観光経営人材の育成
- 献血の推進
- 訪問介護事業者への支援
- 県管理道路における道路照明のLED化

自由民主党新緑の会
伊藤 毅



- 公共交通網の再編に向けた基本方針の策定
- 高等学校におけるキャリア教育
- 地域防災の強化
- 都市計画道路田富町敷島線の交通対策
- 飲酒運転の根絶対策と取締り
- 第五十二回信玄公祭りの開催

自由民主党 政風やまなし
向山 憲稔



- リニア新駅周辺整備における県の主体的関与と安全対策
- 秩序ある共生社会に向けた外国人入国政策
- 災害時のトイレ環境とし尿処理体制の充実
- 在宅酸素療法(HOT)患者の災害支援体制の構築
- 孤立させない精神保健福祉の実現
- 需要に応じた米の生産体制の強化
- 県警察におけるサイバー人材の育成

自由民主党新緑の会
望月 大輔



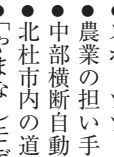
- 本県の事業承継支援
- ジュエリー産業における人材育成
- 甲府城南側周辺整備
- 高齢者が安心して暮らせる取り組み
- 児童虐待防止対策
- 本県の子ども達による国際交流

自由民主党 政風やまなし
飯島 力男



- 富士トラムに係る海外視察の成果
- 国道百四十号・西関東連絡道路の整備
- こども食堂への支援
- 果樹農業の振興
- スマート農業の推進
- 義務教育学校を導入する市町村への支援

自由民主党・開の国
浅川 力三



- 肝炎対策
- 県有林の有効活用
- 管理捕獲従事者等の確保・育成
- メディカル・デバイス・コリドー構想の更なる推進
- ハケ岳南麓エリアへの外国人観光客の誘致に向けた広域的な取り組み
- スポーツツーリズムの推進
- 農業の担い手の確保
- 中部横断自動車道長坂以北における県の取り組み
- 北杜市内の道路整備
- 「やまなしモデルP2Gシステム」の導入拡大に向けた取り組み
- 少人数教育の推進



日本共産党
菅野 幹子



- 物価高騰対策
- ツキノワグマ被害対策
- 医療・介護など社会保障の課題
- 学校給食無償化
- 高等学校入学準備サポート事業給付金
- 流域下水道事業・ウォーターPPP導入
- 知事政治資金



(えがお夢)
福井 太一



- 教育立県山梨の深化に向けた少人数教育の推進と体制強化
- 介護現場におけるキャリアパスの導入に向けた取り組み
- 多様なケアラーの孤立防止
- 介護現場におけるカスタマーハラスメント対策
- 子どもへの食料支援
- 地球温暖化に適應する強靱な稲作の推進とブランド米の振興
- 地域資源を活かした「稼ぐ力」の強化と次世代を担う人材の育成
- 中山間地域の持続可能な農業

ホームページ、
会議録を
ご覧ください

県議会に関する各種情報を、ホームページからご覧いただけます。多言語やスマートフォンにも対応しています。

また、本会議の会議録については、県議会のホームページの会議録検索システムのほか、県立図書館や最寄りの各地域県民センター、お住まいの市町村議会事務局でもご覧いただけます。



山梨県議会

検索



その他の議案を含めた議員別の賛否はホームページでご覧いただけます。



議案に対する各会派の賛否（起立採決分）

議案の名称	議決結果	自由民主党新緑の会	自由民主党政風やまなし	未来やまなし	開の国	日本共産党	公明党	リベラル山梨	県やまなし民会議	えがお夢
知事提出議案										
第102号 (山梨県知事、副知事、公営企業の管理者、教育長及び常勤監査委員の通勤手当及び期末手当支給条例及び山梨県特別職の秘書の職の指定等に関する条例改正の件)	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
第103号 (山梨県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正の件)	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
第109号 (山梨県認定こども園の認定に係る要件を定める条例等改正の件)	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
第113号 (令和7年度山梨県一般会計補正予算(第7号))	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
第115号 (令和7年度山梨県集中管理特別会計補正予算(第1号))	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
同第9号 (山梨県監査委員の選任について同意を求めるの件)	同意	○	○	○	○	×	○	○	○	○
認第1号 (令和6年度山梨県一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定の件)	認定	○	○	○	○	×	○	×	×	○

○：賛成 ×：反対

- 可決・認定・同意された主な議案**
- 山梨県中小企業者等の事業の再生を支援するための措置に関する条例制定の件
 - 山梨県職員給与と条例及び山梨県一般会計の任期付研究員及び任期付職員採用等に関する条例改正の件
 - 令和7年度山梨県一般会計補正予算(第七号)
 - 令和7年度山梨県恩賜県有財産特別会計補正予算(第三号)
 - 令和7年度山梨県一般会計補正予算(第八号)
 - 山梨県人事委員会委員の選任について同意を求めるの件
 - 山梨県監査委員の選任について同意を求めるの件
 - 令和6年度山梨県一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定の件



公式Facebookで情報発信しています。

県議会では、公式Facebookで議会活動の情報を発信しています。ぜひご覧ください。



委員会リポート

総務委員会

委員長 向山 憲裕



公共交通網再編に向けた基本方針策定支援事業費

問 公共交通網の再編に向けて、来年の秋頃を目途に基本方針を策定することだが、本事業の目的は何か。また、具体的な事業の内容は。

答 県内では、人口減少や運転手不足の深刻化などで交通空白が広がっており、観光客や住民生活に大きな影響が生じている。

こうした課題の解決のため、県では富士トラムなど次世代モビリティを活用した新たな交通網の構築を目指している。この実現には、全県的な公共交通網再編の指針となる基本方針を策定する必要がある。その策定に必要となる調査検討を行う。

本事業では、主に三つの内容について調査検討を行う予定である。まず、人流データなどに基づき選定した基幹路線の候補ルートについて、富士トラムや路線バスなどによる最適な移動手段を比較検討する。

次に、富士トラムが最適とされた基幹路線の候補ルートについて、道路や周辺設備の状況を踏まえ、富士トラムが走行する場合の技術的な課題を調査整理する。

そして、基幹路線を有効に機能させるために、次世代モビリティの活用などを含めた地域内交通の在り方について検討する。

「桃ソムリエ」認定・活用推進事業費

問 この制度の具体的な目的や背景は。また、本制度の将来的な展開と効果は。

答 本県は、桃の生産量日本一を維持しており、時期ごとに個性豊かで異なる品種が生産・出荷されているが、消費者に品種ごとの違いや特徴が十分知られていない。そこで、桃の専門的な知識を有する方を桃ソムリエとして認定し、品種ごとの特徴や魅力を消費者等に伝えることで、桃の付加価値を高め、販路拡大につなげていきたいと考えている。

将来的には、J Aグループなどと連携し、桃ソムリエの

農政産業観光委員会

委員長 流石 恭史



「桃ソムリエ」認定・活用推進事業費

認知度向上を図るとともに、販売促進活動や各種イベントにおいて本制度の全国展開を推進する。

また、桃ソムリエの活用を通じ、消費者が品種ごとの個性を楽しむ文化を醸成することと、桃のブランド価値を高め、販路や生産拡大につなげていく。

【その他の主な質問事項】
・山梨県中小企業者等の事業の再生を支援するための措置に関する条例制定の件
・キャリアアップ・ユニバーシティ人材育成・就労支援モデル事業費
・信玄公祭りブラッシュアップ事業費

武田の杜管理費及び金川公園管理費

問 賃金上昇に伴い、指定管理委託料を増額することだが、補正の考え方は。また、具体的な積算の考え方と、今後さらに賃金上昇した場合の対応は。

答 補正の考え方については、指定管理の候補者を募集する際に、通常の物価変動等のリスクを見込んで応募することを条件としているため、原則として、経費増は、指定管理者が対応し、変動が著しい場合には、協議の上、県が対応することとなる。今年度は、賃金動向を踏まえ、人件費の著し

い変動があったものと判断し、委託料の増額を行う。

また、具体的な積算の考え方については、指定管理者の賃上げにより当初の計画額を超えることとなる人件費を増額の対象とし、委託料が令和三年度の水準により算出されていることを踏まえ、令和三年度と今年度の最低賃金を比較した場合の引上げ率を参考に増額する。

今後さらに賃金上昇した場合、来年度以降の賃金水準の動向などを踏まえ、適時適切に対応する。

土木森林環境委員会

委員長 大久保 俊雄



【その他の主な質問事項】
・契約締結の件

教育厚生委員会

委員長 小沢 栄一



問 事業化に至った背景と期待される効果は。

答 医療・介護分野の人材不足の要因は、看護・介護職が身体的・精神的負担が大きいことに加え、社会に不可欠であるにもかかわらず、社会的評価や報酬が十分でないことにある。医療機関や介護施設では、業務効率化等のため、AIやデジタル技術の活用が進んでいるが、それらを使いこなせる人材は不足している。このため、デジタル技術を駆使し業務改善を主導できる専門人材として、高い社会的評価と報酬を得られるアドバンスト・エッセンシャルワーカー

の育成を進める。

本事業では、看護・介護の関係者やICTの専門家等が構成する検討会において人材育成の手法等を検討するとともに、医療・介護現場へのアドバイザー派遣を行い、実効性の高い育成モデルを構築する。

アドバンスト・エッセンシャルワーカーが業務改善を主導することと、医療施設等の生産性向上や職員負担の軽減に寄与する。また、最新のデジタル技術を駆使する人材として社会的評価と報酬を高め、魅力ある職業として確立し、人材の確保・定着につなげる。

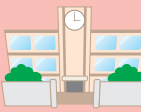
その他の主な質問事項

【その他の主な質問事項】
・新たな地域医療構想策定事業費

議会活動の紹介



教育厚生委員会



あおぞら共和国(写真:北杜市)の現地調査では、県と認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークとの連携による難病の子どもとその家族の療養環境向上に向けた取組状況を確認しました。また、県立八ヶ岳少年自然の家(北杜市)の現地調査では、自然体験活動を通じた青少年の健全育成、閑散期の利用促進や利用者拡大に向けた取組状況を確認しました。



土木森林環境委員会



山梨県建設業協会「けんせつ小町甲斐」の会員の皆様との意見交換(写真)では「建設業界の人材不足解消と女性活躍推進のため、現場とオフィスをつなぐ建設ディレクターという新しい職域の活用による業務効率化、環境整備が必要だ」などの意見がありました。また、水源地域緊急整備事業重川左岸治山工事の現地調査では、斜面安定化による山地災害の防止や森林の水源涵養機能向上に向けた取組状況を確認しました。



総務委員会



山梨市の防災倉庫及び指定避難所の現地調査では、生活空間やトイレの確保等による避難生活の環境向上に向けた取組状況を確認しました。また、やまなし女性Miraiクエストの参加者の皆様との意見交換(写真)では「女性が活躍しやすい社会の実現には、男女を問わず世代間ギャップの解消を図ることが重要だ」などの意見がありました。



農政産業観光委員会



梅沢・日向山地区の区画整理の現地調査(写真:笛吹市)では、生産基盤の整備による営農条件の向上と農地の集積集約化の推進に向けた取組状況を確認しました。また、日邦プレジジョン株式会社(韮崎市)の現地調査では、県の産業集積促進助成金の活用による新工場の建設、半導体製造装置の設計製造や水素燃料電池の研究開発などの取組状況について調査し、助成金が産業集積や雇用機会の拡大などを促進していることを確認しました。

常任委員会 県内調査

各常任委員会では、議会閉会中に、それぞれ所管する事項の審議の参考とするため、県内外での調査活動を行っています。今回は、令和七年十一月に実施した県内調査の主な状況について紹介します。



大学生との意見交換会

若者が政治に関心を持ち、主体的に参加する契機とすることを目的に、十月二十四日、山梨県立大学飯田キャンパスで大学生との意見交換会を実施しました。当日は、県議会議員十二名と大学生二十一名が参加しました。意見交換会では、まず「若い世代の政治参加を促進するには」をテーマに全体討議が行われ、続いて「より良い郷土づくりに向けて」をテーマにグループ討議が行われました。最後に、佐野弘仁副議長が「率直で前向きなご意見を伺った。今後の議会活動に活かしていく。今後も若い世代の皆さんと交流を重ね、議論をしていきたい」と述べました。



山梨県立大学での集合写真

議会運営委員会

議会運営委員会（山田一功委員長）は、十月二十七日から二十九日にかけて、今後の議会運営の参考とするため、大分県議会と熊本県議会を訪問しました。それぞれの県議会では、両県議会が進めている独自の取組や工夫について説明を受けました。

あわせて長崎市の長崎原爆資料館（写真）と熊本市の熊本大学の視察を行いました。資料館では戦後八十年を踏まえた平和の記憶を伝える取組について、熊本大学では急成長する半導体分野での産学官連携による人材育成について、説明を受けました。



決算特別委員会

九月定例会で設置された決算特別委員会（山田一功委員長）は、令和六年度の山梨県一般会計と各特別会計の歳入歳出の決算内容及び公営企業会計（電気事業、温泉事業、地域振興事業、流域下水道事業）の決算内容について、議会閉会後も継続して合計五日間、審査を行いました。審査では、収支の状況や予算執行上の適否等について活発な質疑が行われました。審査の結果を十二月定例会開会日の本会議で山田委員長が報告し、賛成多数で認定されました。



指定管理施設・出資法人調査特別委員会を設置

指定管理施設の管理の業務または経理の状況及び県が出資している法人の経営状況を調査する指定管理施設・出資法人調査特別委員会（水岸富美男委員長）を十二月十二日の本会議において設置しました。

調査の対象は、指定管理施設のうち山梨県立愛宕山こどもの国及び山梨県富士川クラフトパークの二施設と県出資法人のうち公益財団法人山梨県青少年協会の一法人です。

同委員会は閉会中も該当施設・法人の審査や現地調査などを継続して行い、その結果を二月定例会で報告する予定です。



委員長	水岸 富美男
副委員長	臼井 友基
委員 (8名)	山田 憲 穂 飯島 力 男 久嶋 成 美 望月 大 輔 土橋 亨 三 浅川 力 子 菅野 幹 修 飯島

議員研修会を実施

十一月二十一日、「災害時における県と市町村の役割」をテーマに、今年度の議員研修会を開催しました。講師の県防災局西山隆防災対策専門監（自衛隊OB）から、能登半島地震での事例を交えた説明を受け、質疑応答が活発に行われました。



やまなし子ども・子育て支援条例検証委員会
県内経済の活性化策に関する政策提言案作成委員会

やまなし子ども・子育て支援条例検証委員会（向山憲稔委員長）は、十一月十九日の「やまなし子育ての日」に合わせて甲府駅で街頭キャンペーンを実施し、二次元コードを載せたチラシを駅利用者へ手渡し、条例改正に向けた意見募集を行いました。

また、県内経済の活性化策に関する政策提言案作成委員会（長澤健委員長）は、経済団体への聴き取りや現地視察、有識者との意見交換会などこれまでの調査・検討の状況を踏まえて素案を作成し、十二月十九日に政策立案調整会議に報告しました。



2月定例会の予定

2月定例会は次のとおり開催する予定です。常任委員会については分散開催（4つの常任委員会を2グループに分け、それぞれ別の日に開催）を実施する予定です。

- 2月 17日(火) 本会議(開会)
- 24日(火) 本会議(質疑・質問)
- 25日(水) 本会議(質疑・質問)
- 26日(木) 本会議(質疑・質問)
- 27日(金) 本会議(質疑・質問)
- 3月 2日(月) 常任委員会(令和7年度関係)
- 3日(火) 常任委員会(令和7年度関係)
- 4日(水) 本会議(令和7年度関係)
- 5日(木) 常任委員会(令和8年度関係)
- 6日(金) 常任委員会(令和8年度関係)
- 9日(月) 常任委員会(令和8年度関係)
- 10日(火) 常任委員会(令和8年度関係)
- 23日(月) 本会議(閉会)

※現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。